

2011年3月期 第1四半期 連結業績について

2010年7月29日

住商情報システム株式会社

取締役 常務執行役員 福永 哲弥



住商情報システム株式会社

Sumisho Computer Systems Corporation



業績概況

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 09年6月	10年4月 ～ 10年6月	増減額	増減率
売上高	28,311	31,069	2,758	9.7%
売上総利益	6,650	6,773	122	1.8%
販管費	5,983	5,605	△377	△6.3%
営業利益	667	1,167	500	74.9%
経常利益	795	1,266	471	59.2%
四半期純利益	224	923	699	312.3%



売上高比較 -ソリューション別-

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 09年6月 (構成比)	10年4月 ～ 10年6月 (構成比)	増減額	増減率
業務系 ソリューション	13,715 (48.4%)	15,277 (49.2%)	1,562	11.4%
ERP ソリューション	4,172 (14.7%)	3,437 (11.1%)	△735	△17.6%
プラットフォーム ソリューション	10,423 (36.9%)	12,355 (39.7%)	1,931	18.5%
合計	28,311 (100.0%)	31,069 (100.0%)	2,758	9.7%



売上高比較 -売上区分別-

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月 ～ 09年6月 (構成比)	10年4月 ～ 10年6月 (構成比)	増減額	増減率
ソフトウェア開発	10,873 (38.4%)	10,179 (32.8%)	△693	△6.4%
情報処理	8,424 (29.8%)	8,885 (28.6%)	461	5.5%
システム販売	9,013 (31.8%)	12,004 (38.6%)	2,990	33.2%
合計	28,311 (100.0%)	31,069 (100.0%)	2,758	9.7%
〔受注高〕 ソフトウェア開発	16,438	11,568	△4,870	△29.6%
〔受注残高〕 ソフトウェア開発	12,595	9,635	△2,960	△23.5%



売上高比較 -ソリューション別・売上区分別-

【連結】

(単位:百万円)

10年4月～10年6月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	7,357	4,312	3,607	15,277
ERPソリューション	2,351	246	838	3,437
プラットフォームソリューション	470	4,326	7,558	12,355
合計	10,179	8,885	12,004	31,069

09年4月～09年6月	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	6,963	4,135	2,616	13,715
ERPソリューション	3,176	137	857	4,172
プラットフォームソリューション	733	4,151	5,538	1,0423
合計	10,873	8,424	9,013	28,311

差額	ソフトウェア開発	情報処理	システム販売	合計
業務系ソリューション	393	177	990	1,562
ERPソリューション	△825	108	△19	△735
プラットフォームソリューション	△262	174	2,019	1,931
合計	△693	461	2,990	2,758

SJS 売上高比較 -業種別-

【連結】

(単位:百万円)

	09年4月～09年6月		10年4月～10年6月		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
製造	8,259	29.2%	6,911	22.2%	△1,348	△16.3%
流通	7,455	26.3%	7,213	23.2%	△242	△3.3%
金融	3,607	12.7%	4,175	13.4%	567	15.7%
銀行	1,438	5.1%	1,572	5.0%	134	9.4%
証券	535	1.9%	463	1.5%	△71	△13.3%
信販・リース	574	2.0%	982	3.2%	407	70.9%
生保・損保	1,059	3.7%	1,156	3.7%	96	9.1%
通信・運輸	4,138	14.6%	5,550	17.9%	1,412	34.1%
電力・ガス	332	1.2%	367	1.2%	35	10.7%
サービス他	4,517	16.0%	6,851	22.1%	2,333	51.6%
合計	28,311	100.0%	31,069	100.0%	2,758	9.7%

※一部データの修正があり、前年度の業種別売上金額に変更があります。



売上高分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)

合計	+ 27 億円
増加要因	+ 45 億円
<ul style="list-style-type: none">➤ 業務系ソリューション<ul style="list-style-type: none">・ 金融業向け関連・ 通信・運輸業向け関連➤ サービス業・官公庁向け関連➤ その他	<ul style="list-style-type: none">+ 5億円+12億円+23億円+ 5億円
減少要因	△ 18 億円
<ul style="list-style-type: none">➤ ERPソリューション<ul style="list-style-type: none">・ 製造業向け関連➤ 09年度 整理・撤退事業関連	<ul style="list-style-type: none">△13億円△ 5億円



売上総利益分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)

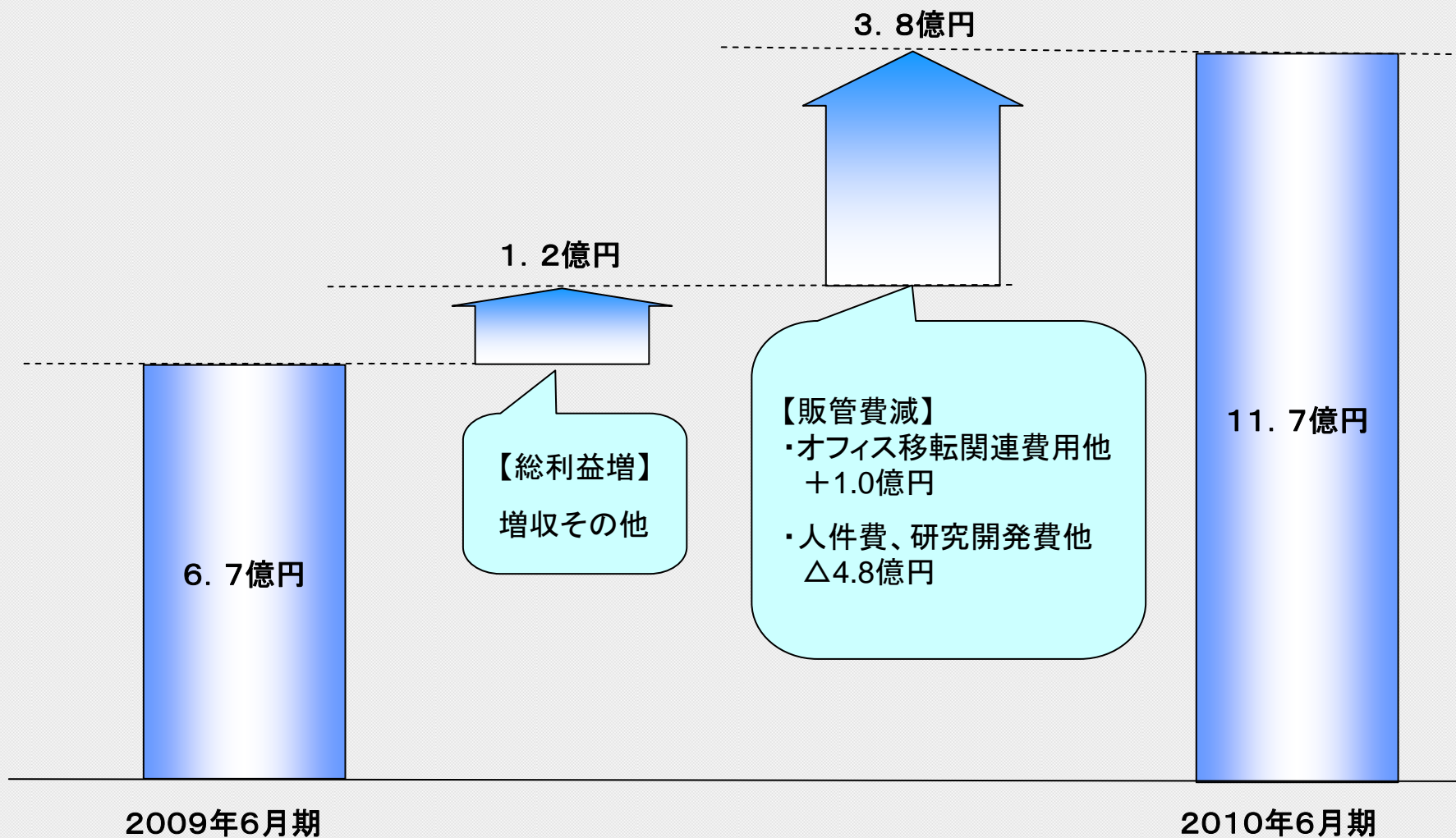
合計	+ 1. 2億円
増加要因	+ 7. 1億円
➤ 業務系ソリューション ・ 金融業向け関連 ・ 通信・運輸業向け関連	+0. 7億円 +3. 4億円
➤ サービス業・官公庁向け関連	+2. 6億円
➤ その他	+0. 4億円
減少要因	△ 5. 9億円
➤ ERPソリューション ・ 製造業向け関連	△4. 6億円
➤ 09年度 整理・撤退事業関連	△1. 3億円



販管費分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)

合計	△ 3.8 億円
増加要因	+ 1.0 億円
➤ オフィス移転関連費用他	+ 1.0 億円
減少要因	△ 4.8 億円
➤ 人件費	△ 0.3 億円
➤ 研究開発費	△ 1.7 億円
➤ 経費抑制(業務委託費・設備賃借料・教育訓練費)	△ 1.2 億円
➤ 09年度 整理・撤退事業関連	△ 1.6 億円

営業利益分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~6月)





社外売上高・営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

ソリューション分類	セグメント	概要	10年4月～6月 社外売上高 セグメント利益
業務系 ソリューション	流通・製造 ソリューション事業	流通・製造業を中心とした、業種固有のシステムニーズに対応したITサービスの提供を行なう事業	8,509
			178
ERP ソリューション	金融・ERP ソリューション事業	金融業固有のITニーズに応えるとともに、一般企業向けに、自社開発のパッケージソフトである「ProActive」他のERPシステムの提供を行なう事業	6,088
			101
プラットフォーム ソリューション	グローバル ソリューション事業	住友商事グループを含む、グローバルに事業を展開する顧客に対し、当社の海外ネットワークを活用したITサービスの提供を行なう事業	2,962
			368
プラットフォーム ソリューション	プラットフォーム ソリューション事業	顧客の業務システムを支えるIT基盤の設計・開発から保守、また、データセンターを活用してのシステム運用まで、ITインフラの構築・運用サービスの提供を行なう事業	12,160
			756
プラットフォーム ソリューション	その他	国内の地域拠点における一般企業向けのITサービスの提供を行なう事業等	1,349
			△121
全社			31,069
			1,167

※全社のセグメント利益1,167百万円には、各セグメントに配分していない全社費用等が△115百万円含まれています。

SCS 事業環境概観

事業環境

➤ 経済全般

輸出の増加、企業業績の改善などを背景に景気は持ち直しの動きが見られ、自律的回復への期待感あり。しかしながら海外景気の下振れ懸念など経済の先行きについては依然として不透明。

➤ ITサービス産業

企業業績の改善に伴いIT投資支出は総じて回復基調ながら、ソフトウェア開発投資は依然抑制傾向。



SCSへの影響

- ハードウェアを含むITプロダクトに関する更新投資が増加
- IT投資全般についての業況見合いでの慎重な投資判断姿勢は変わらず
- 特に、ソフトウェア開発投資については、費用対効果の検討に時間をかけるなど顧客の慎重な取組姿勢が顕著



事業動向(セグメント別)

流通・製造 ソリューション事業

- ・ 企業業績の回復傾向の中、IT投資の検討は活発化。しかしながら、具体的IT投資判断においては依然慎重姿勢
- ・ 例えば、自動車産業において、ハイブリッド・電気自動車関連のIT投資が長期的には見込まれるものの、当面は製造に直接関連する分野に限定

金融・ERP ソリューション事業

- 【金融】
- ・ 銀行業においては中長期的なIT投資を計画する顧客もあり、ディールフローは増えているものの、足元のIT投資は動きが鈍い
 - ・ 証券業においては、コスト低減に重きが置かれIT投資は抑制的
 - ・ 生損保業においては、IT投資について全般的に抑制傾向であるものの、統合関連案件において動きあり
- 【ERP】
- ・ 提案依頼件数は増加傾向。しかしながら、案件規模の縮小や検討期間の長期化などの傾向が続いており、競争環境は依然厳しい
 - ・ IFRSに関連した問い合わせは増加するも、案件化が本格化するのとは来年度以降の見込

グローバル ソリューション事業

- ・ 日系企業の海外拠点向けビジネスについては、経済回復を背景、IT投資意欲の回復が見込まれる
- ・ 中国を中心としたアジア地域における日本企業の海外展開プロジェクトの現地支援の強化を図る

プラットフォーム ソリューション事業

- ・ セキュリティ・ネットワーク等幅広い分野でのITプロダクトへの投資を中心に、IT投資の回復が顕著
- ・ クラウド・仮想化関連でのビジネスも活発化

- 事業施策の進捗状況
 - 事業仕分け
 - 業務委託効率化
 - 人材力拡充
 - 品質向上

- CSKとの業務・資本提携
 - 業務提携委員会活動



上半期業績予想修正

【連結】

(単位:百万円)

	期初発表予想	今回修正予想	増減額	増減率
売上高	61,500	64,000	2,500	4.1%
営業利益	1,900	2,100	200	10.5%
経常利益	1,900	2,100	200	10.5%
四半期純利益	700	1,200	500	71.4%

今後とも皆様のご支援
ご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。



【ご参考】 10/4~10/7 プレスリリース一覧①

ProActive	10.04.01	霧島酒造株式会社の新会計システムとして「ProActive E2」が本番稼動
	10.05.24	ERPパッケージ「ProActive E2」 「包括利益の表示に関する会計基準」への対応概要を発表
	10.06.16	国際財務報告基準(IFRS)の適用を先進事例に学ぶ IFRS 適用を支援する無料セミナーを開催
クラウド	10.04.26	Google カレンダー拡張サービスを提供開始
	10.05.27	Google Apps をはじめとするクラウドサービスのセキュリティを向上させる クラウド統合認証サービスをSaaS形式で提供開始
	10.06.02	IIJクラウド基盤にてZeus Technology社製ソフトウェアロードバランサ 「Zeus Load Balancer」を提供開始
ERP	10.07.07	新日本空調株式会社の勤怠管理システムとして「SHARE/OTM」が本番稼動
Curl	10.06.09	株式会社サイバーテックと主力ミドルウェア製品で協業



【ご参考】 10/4~10/7 プレスリリース一覧②

ネットワーク	10.07.06	高精度帯域制御装置PureFlow® GS1 シリーズ累計販売台数3,000台、導入企業数500社達成
サーバ・ストレージ	10.05.25	山崎製パン、「Oracle Exadata」を活用しデータウェアハウス・システムを刷新
OSS	10.05.26	アクセンチュアと共同でオープンシステムの「OSSマイグレーションサービス」の提供を開始
ミドルウェア	10.05.07	「ASTERIA WARP」でECサイト連携を3日間でスピード構築
	10.06.08	リテイルサイエンスと小売業向け流通BMS対応EDI支援パッケージ「WinWin-EDI for Retail」を販売開始
解析ソリューション	10.05.06	TRANSVALOR社製 鍛造解析ソフトウェア「FORGE」の販売を開始
	10.06.29	プレス成形業務の画期的な工数削減を実現する「Auto Formplus R2」販売開始
その他	10.04.28	子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ